

1年間の教育活動について報告いたします。数値は、4～6年生に実施した後期児童アンケート（「児」と表記）、または後期保護者アンケート（回答率38%（－5ポイント） 「保」と表記）の肯定的回答の割合です。すでに、白小だより2月5日特別号でお伝えしている内容との重複がありますのでご承知おきください。％は「とても思う」「だいたい思う」を合せた肯定的回答率です。（＋－昨年比）

1 学校経営方針「笑顔あふれるみんなの学校～認めて ほめて 伸ばす」

①児「先生がよいところをほめてくれる」81.2%（－0.9）

保「教職員は児童の声に耳を傾け、親身になって受け止めようとしている」87.7%（＋3.8）

保「家庭はお子さんの声に耳を傾け、親身になって受け止めようとしている」99.4%（＋0.5）

子供たちの活躍する場を設け、その中で子供の行動や言葉を「なぜよかったのか」が分かるよう価値づけ、ほめていくことを教職員共通理解して取り組んできました。保護者の皆様は教職員の姿勢を昨年より肯定的に受け止めてくださっています。しかし家庭ほど子供の声を受け止めていないのではないかと感じていることが読み取れます。子供の声を真摯に受け止め、寄り添っていくよう、引き続き心掛けていきます。

②児「自分にはよいところや得意なことがある」89.4%（－0.3）

全国学力学習状況調査（全国の6年生が実施、以下全国学力調査）同質問では、全国、都平均を3.5ポイント程上回っていました。しかし、昨年比若干肯定的回答が少なくなっています。子供がより活躍できるような授業改善が必要であると受け止めています。

2. 知『進んで学ぶ子』【重点】

①児「授業で学んだことを理解できている」92.2%（＋0.3）

児「クロームブック（タブレットパソコン）」を学習で使っている」94.1%（＋4.4）

校内研究として全教員で「主体的に問題を見だし解決する子供の育成」を目指し、授業改善を図りました。クロームブックの使い方にも慣れ、道具として有効に学習に用いる場面が多く見られるようになりました。ノート記述が苦手な学習への参加が消極的になりがちな子供も、クロームブックの活用で積極的に授業参加する姿も見られました。

②児「学校の勉強が好きである」75.0%（＋2.6）

肯定的回答は増えたものの4分の1の子供が「あまり思わない」「思わない」と回答しています。友達と考えを出し合って学び合うことや自ら問題を解決していくことが楽しいと思えるような授業を計画していきます。

③児「宿題や自主学習など家で勉強する習慣がついている」74.2%（－2）

昨年に引き続き十分とはいえません。保護者への同質問も肯定的回答は73.4%です。基礎・基本の確実な定着のためにも家庭学習への声かけを家庭でもお願いします。

3. 徳『助け合う子』

①児「自分からすすんであいさつをしている」88.7%（＋1.7）

保「お子さんは基本的な生活習慣（挨拶、言葉遣い、早寝早起きなど）が身に付いている」84.6%（＋1.2）

少しずつ身に付いているようです。地域の方からほめていただくこともありました。子供たちを核に、挨拶の飛び交う地域になればと思います。保護者、地域の皆様も子供たちに声を掛けてあげてください。

②児「いじめや仲間外れをせず、友達と仲良く生活をしている」96.1%（＋2）

けやきの森学園児童との直接交流、今年度はインクルーシブソーラン節をけやきの森学園の児童、生徒と一

緒に取り組むなど交流を深めました。引き続き「自分も友達も大切」という子供を育てていきます。
たて割り班活動により、下級生に優しい上級生という校風が定着してきました。

4. 体『たくましい子』

①児「体育や休み時間はすすんで運動しようとしている」77. 7%（-3. 4）

昨年度からの課題でしたが、さらに肯定的回答が低下しました。体力調査でも、特に持久力は都や全国の平均を大きく下回っています。持久走タイムや縄跳び週間で、運動の機会を与えてきましたが、それが日常の運動への意欲にはつながりませんでした。暑さ対策で制限も必要ですが、日常の休み時間の外遊びの活性化を図ります。

②児「自分の安全は自分で守ろうと心掛けている」98. 8%（+0. 4）

自らの健康、安全に関心をもち、自己管理できる子供を目指し、目標をもって避難訓練等に取り組んできた成果が出ていると考えます。

5 今年度の取組

①個別最適な学びと協働的な学びの実践

・校内全教員で、外部講師の指導を受けながら授業改善を図りました。府中市グランドデザイン4つの視点を計画的に授業の中に位置付けるようにしました。

②地域への発信

・保「学校は教育方針や活動内容、児童の様子を保護者会、学校公開や学校だよりなどで伝えている」96. 9%（-1. 5）

初めての「地域見守りの方に感謝する会」を実施しました。地域の方にお越しいただき、直接全校児童が感謝の気持ちを伝えました。

正門掲示板を定期的に更新し、地域の皆様に学校の様子を伝えました。学校ブログも更新しながら、各学年、行事等の様子を伝えました。引き続きブログにより学校の情報を発信します。

参観保護者会を継続し、学校公開以外でも授業を見ていただく機会を確保しています。

③学年としての指導の充実

・全学年で道德の交換授業を実施し、担任する学級だけでなく学年すべての児童の実態把握に努めました。教員からは、他学級児童の様子がより分かるようになったとの声が複数上がっています。

6 特色ある教育活動

①タグラグビークラブ（白小フェニックス）の活動

・保護者の協力もいただきながら活動ができました。府中市フォーリスカップで優勝するなど、練習の成果を発揮することができました。来年度は5月下旬から9月下旬まで原則校庭での運動ができなくなるため、指導する教員の負担も考えながら練習方法を工夫していきます。

②和太鼓クラブの活動

・講師の土方先生の指導の下、週2回の朝練習やクラブ活動の時間で練習をしています。教員も指導や引率を行っています。文化センターまつりなど地域で演奏し、地域の方に喜んでいただきました。府中市青少年音楽祭でも発表の機会をいただきました。楽器の運搬補助など保護者にも協力いただきました。

③白小合唱団

・音楽専科教員の指導で週1回の朝練習を中心に練習を重ね、様々なコンサート、府中市青少年音楽祭で成果を発表しました。

和太鼓クラブ、白小合唱団は、校内でも全校児童の前で演奏する機会をもちました。

3クラブとも教員が課外のクラブ活動の指導を担っています。教員の働き方も考慮し練習方法を工夫しながら、子供たちに活躍の機会を与えていきたいと考えています。

7 その他

①児「学校は安全なところである」91.0%（+1.9）

保「学校は施設や設備を管理し、健康で安全にできる環境となっている」88.9%（-1.1）

子供は9割が安全と答えており、そのうち57.4%が「とても思う」と答えており、おおむね安心して通えているようです。保護者の肯定的回答のうち「とても思う」は14.2%に止まっており、昨年度に引き続いての課題です。そこで不審者侵入防止の対策として、子供たちの在校時は南門、北門は施錠するようにします。正門も警備員が見守ります。保護者の皆様にも正門からお入りいただき、職員玄関を通るようにお願いします。

②児「学校へくるのが楽しい」86.3%（+7.4）

保「お子さんは楽しく学校生活を送っている」92.0%（-1.9）

昨年度に引き続き保護者の皆様の9割は楽しく学校生活を送っていると感じてくださっています。ただし、「とても思う」は30.9%で、子供の「とても思う」50%と隔たりがあります。子供は昨年度よりも肯定的回答が増えており、引き続き子供の「できた」「分かった」がたくさん見られる授業を目指していきます。